

こども科学館



(こども科学館外観)



1. 概要

- (1) 所在地 和歌山市寄合町19番地
- (2) 電話番号 (073) 432-0002
FAX (073) 432-0004
- (3) 開館時間 9時30分から16時30分まで
- (4) 休館日 月曜日(休日に当たるときはその日以後においてその日に最も近い休日でない日) 年末年始(12月29日～1月3日)
※上記のほか、臨時に休館する場合があります。
- (5) 敷地面積 749.66㎡
- (6) 建築面積 474.11㎡
- (7) 建物延面積 2,007.46㎡
- (8) 建物構造 鉄筋コンクリート地上4階建

◦入館料及びプラネタリウム観覧料

		個人			団体(30人以上)	
		幼児	小・中学生	大人	小・中学生	大人
入館料	無料	150円	300円	110円	230円	
プラネタリウム観覧料	無料	150円	300円	110円	230円	

2. 趣旨

こども科学館は、市制施行90周年と国際児童年を記念して、「見よう、ためそう、みんなの夢」をテーマに昭和56年5月5日に開館した。

*こども科学館 科学教育目標

こどもの自然科学に関する興味と認識を深め、個性に応じた能力の伸長と情操豊かで創造的なこどもを育成する。

「科学をとおしての子供の健全育成」

- (1) 幼児期から自然事象に触れさせ、自然事象に対する感受性を養うとともに、自然科学に関する興味・関心や科学に関する能力(自然科学についての基礎的な知識・技能、観察する力、疑問を認識する力、比較して調べる力、論理的に考える力など)を養う。
- (2) 科学的な能力を身につけることをとおして、自信、意欲などの情操を養う。

3. 事業の概要

(1) 展示事業

1階 エントランスホールでは、科学の入り口として「たんけん！宇宙ひろば」がお客様を迎える。郷土の自然コーナーでは和歌山市とその周辺の地形・地質・岩石・化石・植

物・昆虫・魚・鳥を展示している。



(たんけん！宇宙広場)

2階 電気と磁力・力と運動・音・光等に関する展示があり、楽しく体験しながら学ぶことができる。また、幼児が遊びながら科学を体験できる「わくわくたいけんひろば」も設置している。

3階 「光と音の国」は楽しく遊びながら学べる参加体験型の展示である。実習室では各種科学教室を行っている。

4階 天体に関する展示をしている。和歌山天文館で使われていた金子式プラネタリウムと本館で使用していたミノルタ製のMS-10型投影機を展示している。プラネタリウム室は、ドーム直径が12m、定員が122人である。



(新しくなったプラネタリウム)

(2) 科学普及教室事業

① 科学普及教室

- * 9歳までに身につけたい科学教室
 - ・9歳までに身につけることが必要だと考えられる自然の事物・現象について実際に体験し、身の回りにある科学的事象に気づ

く。

- * 実験で発見！教室
 - ・身近な自然事象や学習したことなどを対象として、自らの諸感覚を働かせ自然事象を体験することにより、自然科学への興味・関心を高める。
- * 音科楽教室
 - ・音が聞こえる理由や音が鳴る原理についての興味・関心をもつ。
 - ・身近に起こる現象や楽器作りの体験などから、なぜ音が鳴るのか考え、その理由を知る。
- * 親子生き物博士教室
 - ・和歌山市の自然を対象として、自らの諸感覚を働かせ、実物に触れたり体験したりすることを通して、自然への興味・関心を高める。
- * 自然工作教室
 - ・和歌山市の自然に興味・関心をもつ。
 - ・様々な道具に慣れ、自然にあるものを材料として作品を完成させる。
- * 自由研究（科学作品）のススメ
～テーマと研究方法～
 - ・自由研究をつくるきっかけ作りやヒントを得る。
- * ミニサイエンス
 - ・主に小学生までの子供を対象に20分程度の簡単な実験や工作、解説等を行い、科学に対する興味や関心をもったり高めたりする。
- * 天体観察会
 - ・学校や和歌山市の施設等に職員が出張して、市民や子供を対象とした天体観察会を実施する。



(親子生き物博士教室)



(ミニサイエンス教室)

② 発明創作事業

* 発明くふうコンクール

・発明やくふうに関心と興味を持ち、日常生活の改善と豊かな暮らしを目指すことを目的として、市民の方からアイデアを活かした「くふう作品」を募集し、応募作品の公開展示や優れた作品の表彰を行う。

* 子供創作教室

・ものづくりを楽しむことにより、豊かな創造力を養うとともに、技術の向上を図る。

* 企業見学バスツアー

・ものづくり等の現場を見学し、そのしくみや工夫を知ることにより豊かな創造力を養うことを図る。

③ 協働事業

* 和歌山市少年少女発明クラブ

・創作を楽しみながら豊かな発想力、くふう力、創造力の育成を図る。

・小学校3年生～中学校3年生の児童・生徒

2クラス64人 年間18回 木工、科学、革、電気、電子の創作教室を実施する。

* 青少年のための科学の祭典

ーおもしろ科学まつりー

* ロボカップジュニアジャパンオープン2018

ー和歌山大会ー

(3) プラネタリウム事業

天体投影機により天体をできる限り自然に近い形で投影し解説する。また、デジタル投影による天体や自然に関する情報や映像の投影により、宇宙及び自然に関する正しい知識と認識を習得させ、興味・関心を高める。

① 一般投影

・本日の星空と全天周映像番組の投影

② 学習投影

③ 幼児用七夕投影

こども科学館 平成30年度

*年間入館者数 44,095人

*こども科学館科学普及教室参加者数
年間 3,981人

*発明創作事業参加者数

(教室及び発明くふうコンクール)

年間 433人